

～ CDからストリーミングの時代へ～

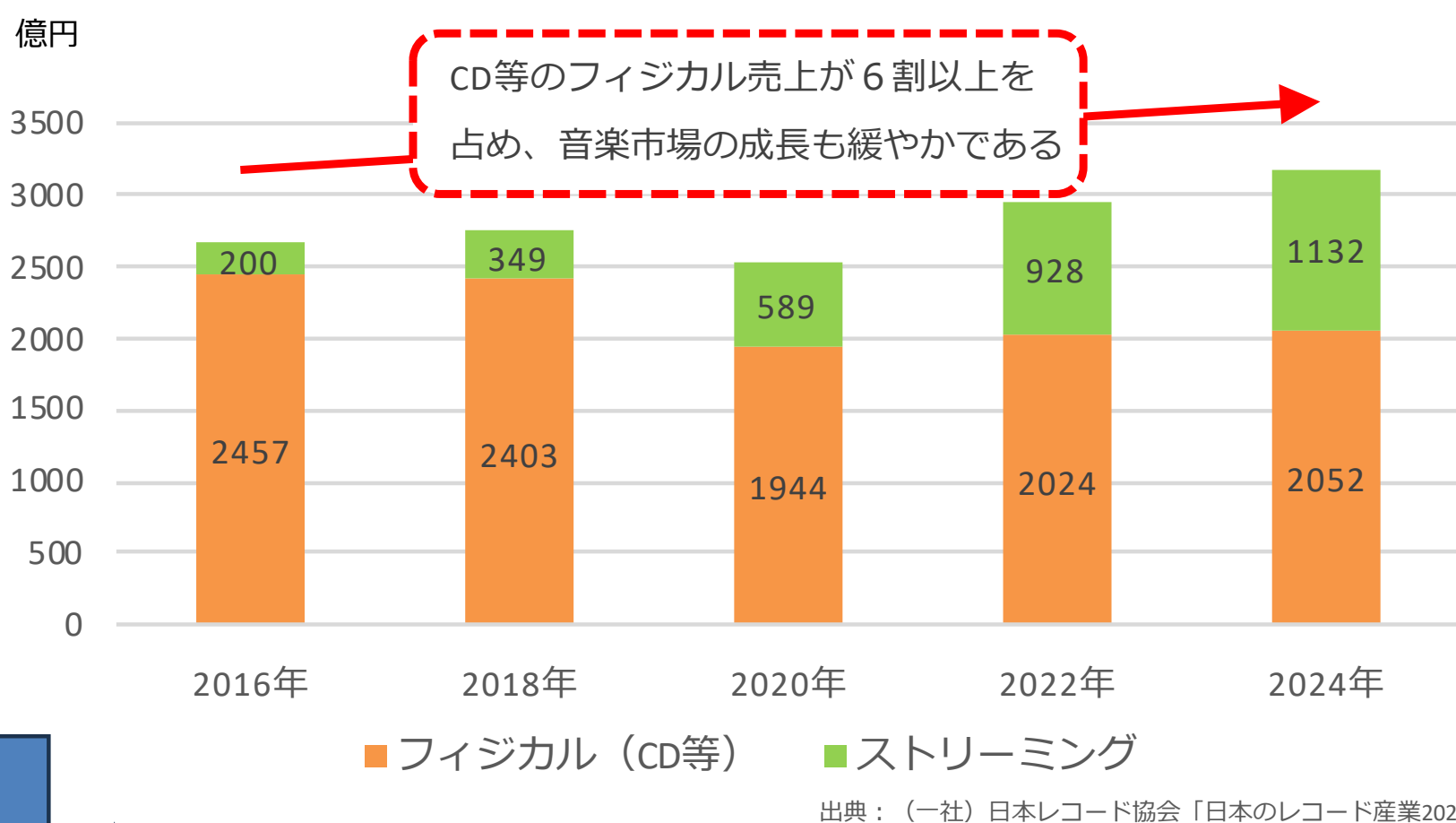
日本の音楽市場はなぜ伸び悩むのか？

ストリーミングが世界の音楽市場の成長を牽引する中、日本では依然としてCD売上げが多く、市場の成長も緩やかである。その理由を分析し、今後の課題について考えた。

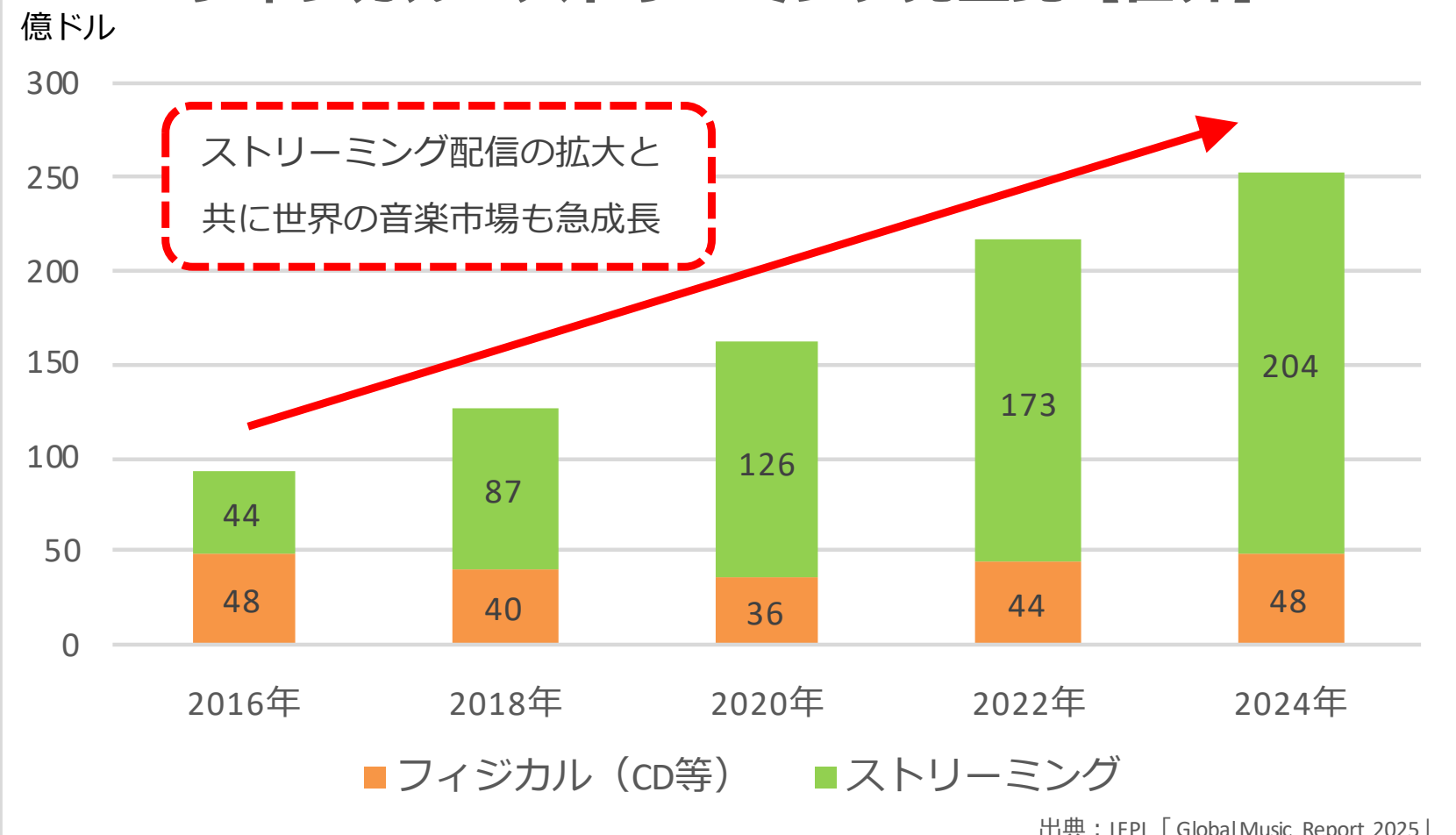
👉 **フィジカル** …… CDやDVD等の手に取ることができる商品

👉 **ストリーミング** …… サブスクリプション等のインターネットを介した音楽配信

フィジカル・ストリーミング売上比【日本】



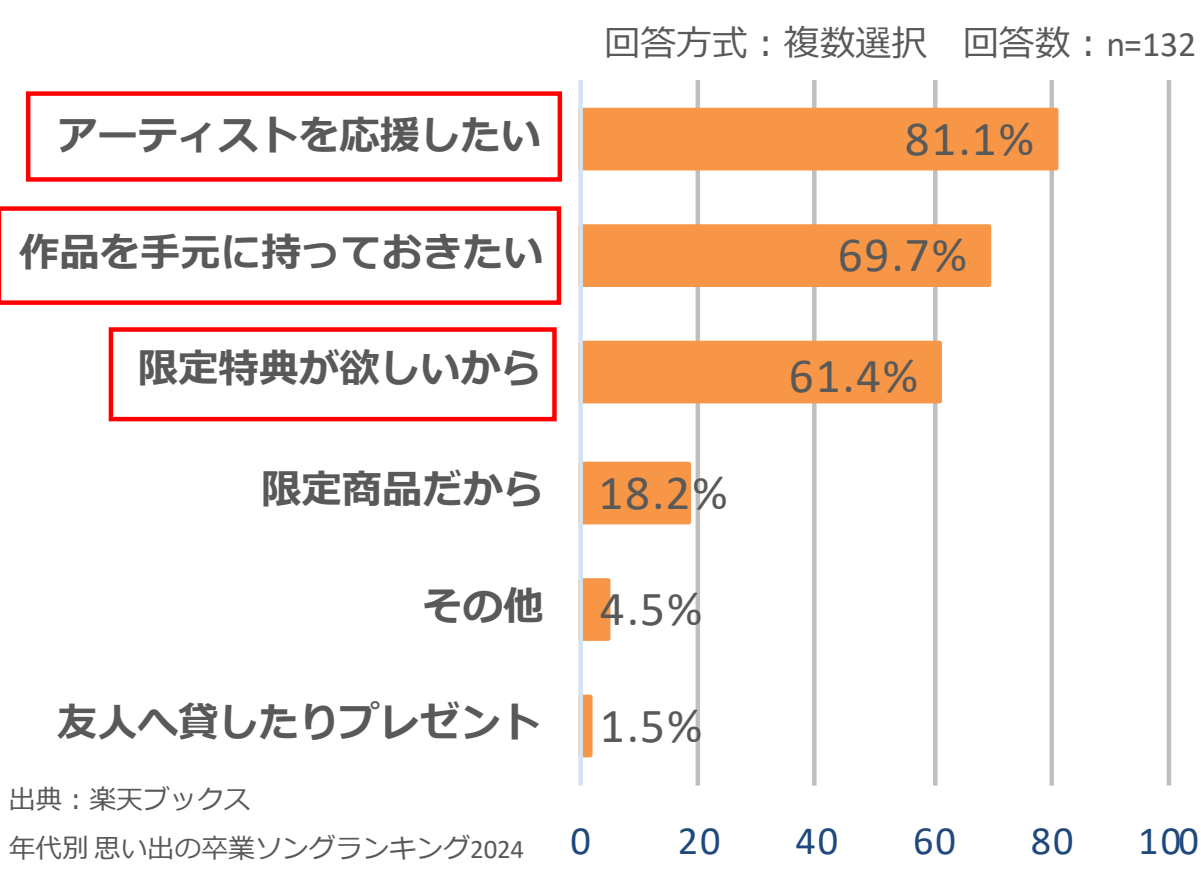
フィジカル・ストリーミング売上比【世界】



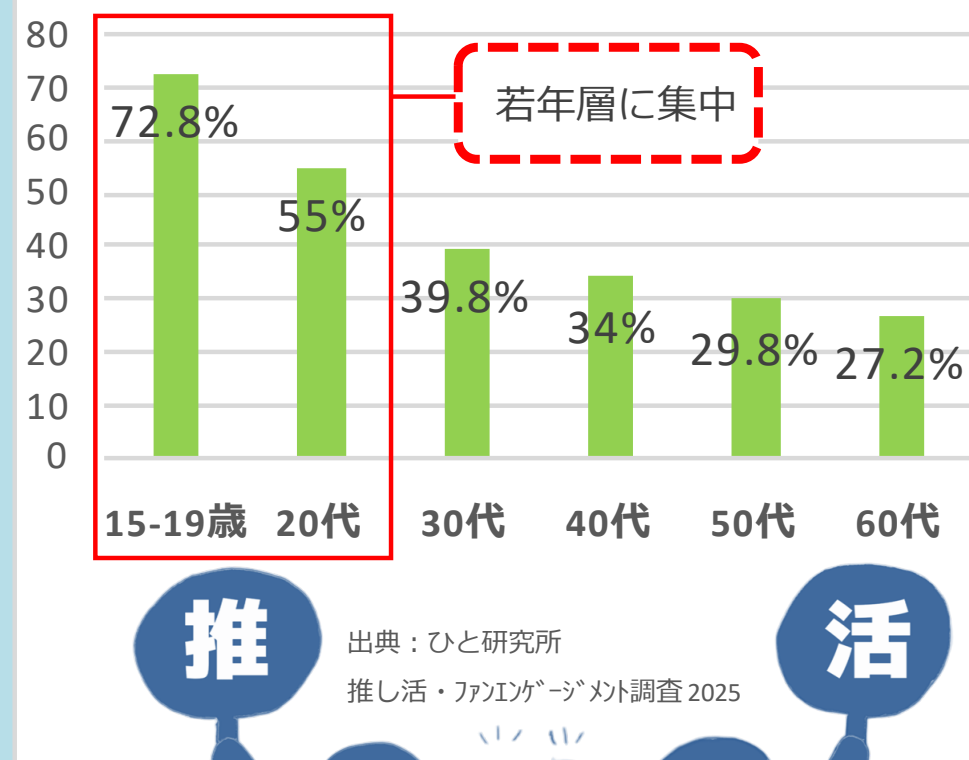
ストリーミングに移行しないのは『推し』をターゲットにしたCD商法が原因か？

CDを購入する理由について調査したアンケート結果より、若者を中心とした日本独特のファンカルチャーがフィジカル商品の売上げを伸ばす主な要因であることがわかった。

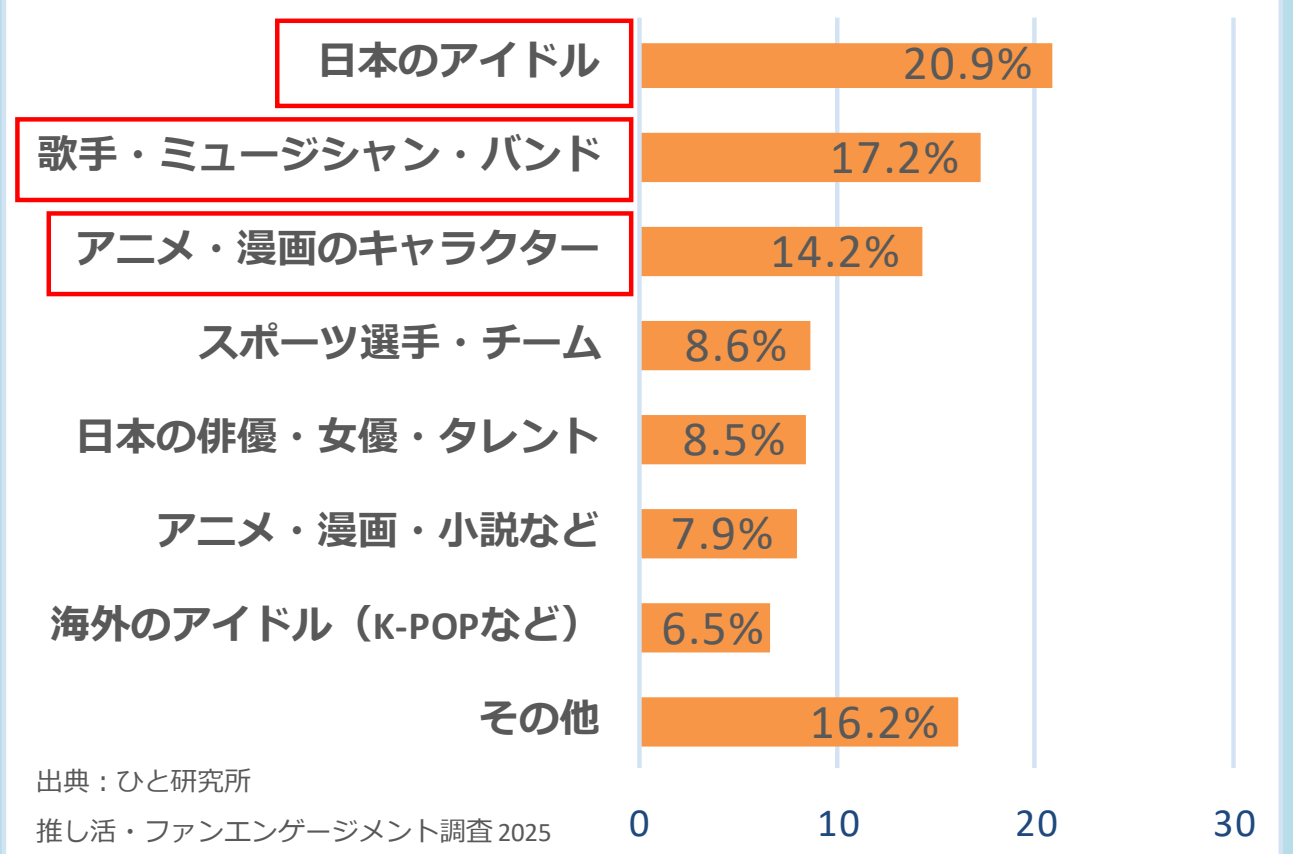
学生がCDを購入する理由



<推し> がいる人の割合



<推し> のジャンル



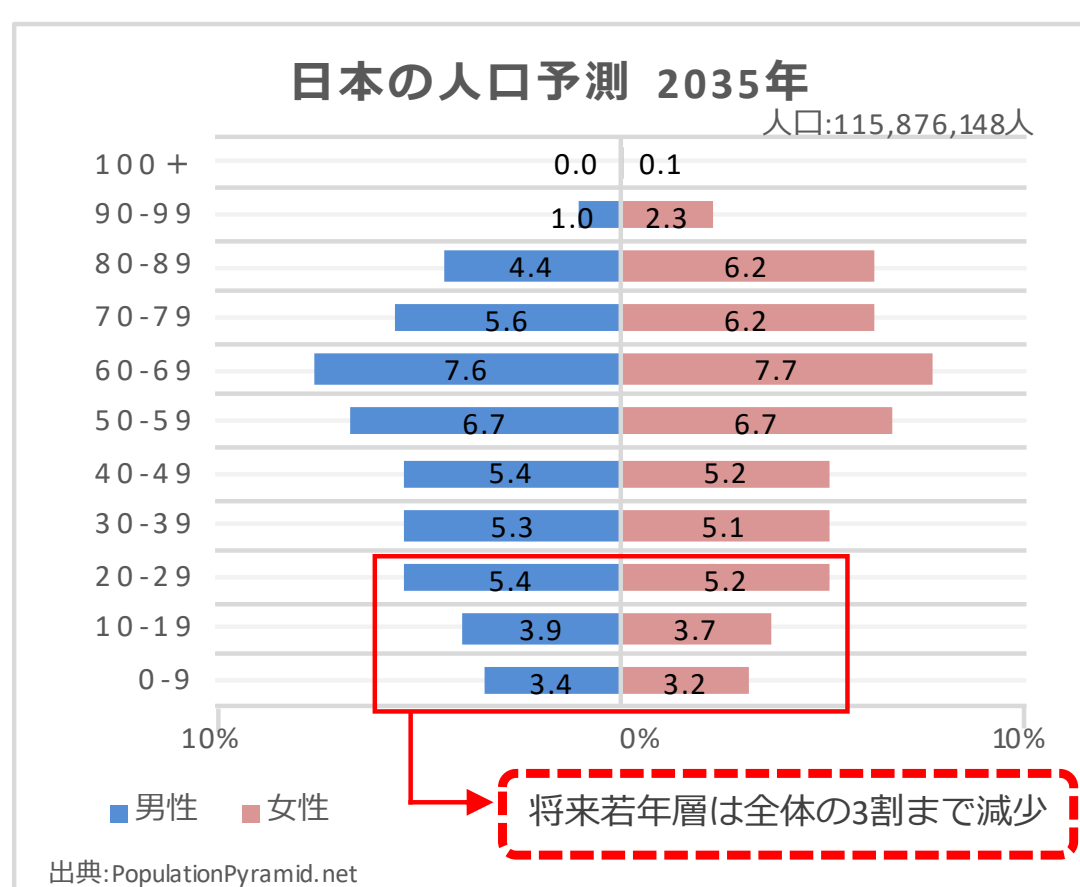
- ・好きなアイドルのジャケット写真を見ると元気になれるから、集めて手元に置いておきたい！⇒ 応援・収集する喜び、「モノ」の魅力
- ・ファンイベントの限定チケットが特典についてくるから、当選確率を上げるために何枚も買う！⇒ 音源以外の付加価値

- ・音楽、映像メディアに関わるジャンルが上位を占めていることがわかる。特にアイドル人気が高く、貢献したい気持ちが購買行動につながっている。
- ・日本のアニメ人気は根強く、熱心なファンを得やすい。アニメのポスターや缶バッジなどの特典目当てにCDを購入するファンも多い。

日本の音楽市場の課題について

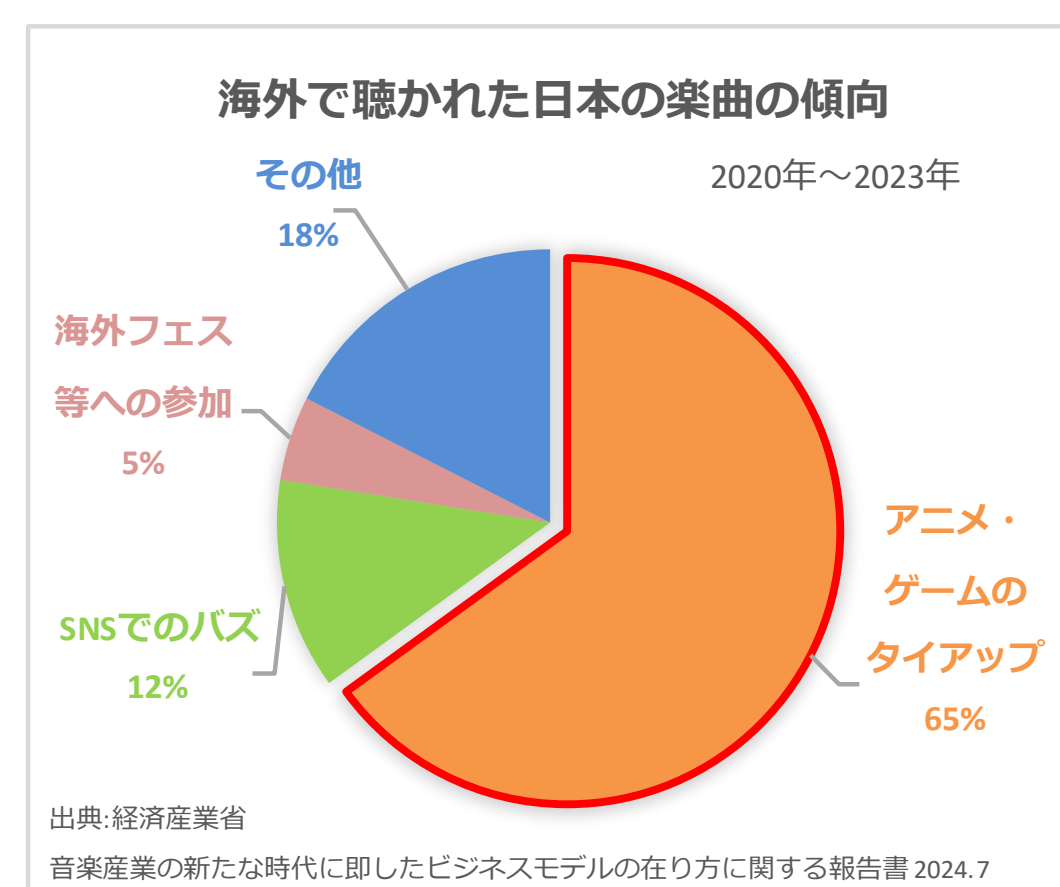
【CD依存のままではいずれ限界がやってくる】

日本の音楽市場全体の収益は近年世界2位を維持し続けている。1枚あたりの収益率が高いCDが人気を集めているからだ。しかし、このCD人気は日本独自の推し文化によるところが大きい。音楽消費の中心となる若年層が減少している日本は、CDに依存しているだけでは市場の拡大に繋がらない。



【デジタル化によるグローバル展開が必要】

世界は人口増加に伴い今後も音楽市場の拡大が見込まれる。日本の音楽産業を継続して発展させるためには海外市場への展開が必要不可欠だ。海外でも人気のアニメ曲を中心に、世界中で日本の音楽を聴いてもらうことが日本の音楽市場の発展につながる。そのためにはSNSやYouTubeを利用した情報戦略も必要だ。



考 察

日本の音楽市場は、若者達の推し文化による特典付きCD売上げに依存しており、売上げがファンの購買力に左右されやすい。その結果、日本の音楽市場は国内志向であり、国内では強い一方で海外展開には弱さが見られる。また、少子高齢化で若者人口は減少し、推しによるCD売上げも縮小する可能性が高い。さらに高齢者層はストリーミングへの移行が遅く、デジタル化を妨げている。一方で世界では、ストリーミングが主流となり、国境を越えた音楽消費が拡大している。K-POPのように世界的な成功を収めた例もある。日本でも将来的にはデジタル中心へ移行が進むだろう。

日本の音楽市場を成長させるには、海外で売れるアーティストを育て支援することと、僕たち自身が新しい音楽との出会いをストリーミングによって積極的に楽しむ姿勢が必要だと感じた。

